

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】 福岡県立福岡高等視覚特別支援学校

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	福岡県立福岡高等視覚特別支援学校 本科 普通科1～3年 11名 生活技能科1～3年 6名 太宰府高校生徒 20名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (マラソン大会・交流事業) 平成30年1月19日(金) 9:00～15:30 ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動を実践し、自ら体力向上、健康の保持増進を図るとともにスポーツの楽しさを体験することをとおして生涯スポーツにつなげる。 ・他校生徒と協力して、安全に活動しながら交流を深め、コミュニケーション能力を高める。 ・障がい者への正しい理解と認識を深める機会として捉え、互いに支え合っていくことの大切さを学ぶ場とする。
5 取組内容	<p>1 スポーツ交流 本校と太宰府高校との交流も兼ねて実施した</p> <p>(1) マラソン大会 視覚障がいのある本校生徒に対し、太宰府高校の生徒が1対1で伴走しコミュニケーションを深めることができた。 3km走、20分間ランニング、20分間ウォーキングの3つのカテゴリーを設定し自分の体調に応じて自由出場とし、複数の出場も認めた。3km走：5名 20分間ランニング：8名 20分間ウォーキング：8名</p>



(2) サウンド・テーブル・テニス (STT)

太宰府高校生徒とのペアで全体を4ブロックに分けて、各ブロックで本校生徒によるルールの説明をまじえてゲームを行った。太宰府高校生徒にはアイマスクを着用させ全盲を体験させた。視覚から得る情報の多さに驚いている様子だった。



(3) 太宰府高校生との会食

本校生と太宰府高校生とで楽しく語りながら会食をした。



(4) ボッチャ

太宰府高校生とのペアで全体を4ブロックに分けて、リーグ戦のゲームを行った。太宰府高校生に対しては事前にルールの説明会を実施しておいた。



6 主な成果

- 生徒自身が現在の体力を知り、今後の体力づくりの指針となった。
- 交流を通じて初対面の人とも自然に会話ができ、コミュニケーション能力の育成につながった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 持久走においては、3つのカテゴリーへの自由参加としたが、事前に健康相談を実施し配慮が必要な生徒には、本人の健康状態を考慮し話し合いを持った上でカテゴリーを決定した。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度からの成果で、昼休みや放課後に体育館で自主的に運動をする生徒が増えてきている。今後も引き続き体育委員会等において益々活性化させ、生徒自身の生涯スポーツに結び付けていくことが必要である。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 次年度以降においても、本年度同様にこの事業を活用していく予定である。